

令和4年度第1回総合教育会議会議録 12月16日
(午後4時00分)

- 総務課長 只今から、令4年度第1回南幌町総合教育会議を始めさせていただきます。開会にあたりまして、大崎町長よりご挨拶を申し上げます。
- 町長 教育委員の皆様方におかれましては、本日は時節柄ご多用のなか、お集まりを頂くとともに、日ごろより教育行政はもとより、町政運営、各般にあたり、深いご理解とご協力を賜っておりますことを心から感謝とお礼申し上げます。はじめにこの度、3期9年、長きに亘りご尽力いただいた、磯野委員に代わり、11月17日付で委嘱をさせていただいた、伊藤憲二委員に改めまして、宜しくお祝い申し上げます。
- 今年も残すところ2週間あまりとなりました。今年を振り返りますと、2月の記録的な大雪にはじまり、新型コロナウイルス感染症は発生から約3年が経過、また、ロシア軍のウクライナ侵攻、物価高騰と円安、そして政治の混迷など大きく揺れた1年であったと思います。
- 特にコロナ禍が長期化し、学校運営や少年団、部活動、社会教育事業など繰り返し影響を受け、関係者の皆さんは大変なご苦勞を強いられたことと思います。そうした中、先月、開拓130年・町制施行60周年記念式典を挙行することができました。当日は、2名のスポーツ推進委員の方に長年のご功績を称え、教育功勞者表彰を贈呈させていただきました。
- そして、本町の現在の人口は7,525人で、1年前と比較して140人ほど増加しております。平成10年に1万人到達以来、減少が続いておりましたが、今年5月より毎月の人口が連続増加中で、明るい兆しが見え始めています。一方、南幌高校は、来年3月をもって閉校となります。64年の歴史に幕を閉じるのは、大変残念ではありますが先月開催された閉校記念式典では、在校生徒の演出など心打たれるものがありました。
- 本日の総合会議の議題につきましては、子どもたちの未来を応援する取組みの実施状況でございますが、皆様方より忌憚のないご意見を賜りますことをご祈念申し上げ、私の冒頭の挨拶とさせていただきます。本日は宜しくお祝い致します。
- 総務課長 以降につきましては、町長の進行によりお祝い致します。
- 町長 それでは協議事項の1番目、子どもたちの未来を応援する取組みの実施状況について、説明をお願い致します。
- 生涯学習課長 協議事項(1)子どもたちの未来を応援する取組みの実施状況につきましては、今年度よりスタートしております、第6期南幌町総合計画後期基本計画におきまして、重点施策として位置づけられております。子どもたちの未来を応援する取組みを推進するにあたりまして、関連する

事業の内容、そして、今年度の実施状況をご説明させていただき、委員からご意見をいただこうと考えております。内容につきましては、担当主幹よりご説明させていただきますので、宜しくお願い致します。

社会教育 G 主幹

説明させていただきます。1 ページ目 (1) 地域みんなで支える子育て・

家庭教育、家庭教育支援の充実、子育て支援事業、継続事業です。

事業目的ですが、未就学児とその親(保護者)を対象に、子育てに対する不安や悩みの解消、保護者同士の交流の場づくりを図るため、子育て支援交流事業等を実施しております。実施状況ですが、すすく広場を1回実施しました。円山動物園の見学ということで、親子合わせて10名参加していただきました。今年度は年間6回の開催を予定しておりましたが、コロナ感染拡大を受け、これまで3回中止をしたところです。

今後、年度末まであと2回の開催を予定しております。

続きまして、家庭教育支援事業、継続事業です。事業目的は、幼児から中学生をもつ親(保護者)を対象に、子どもの教育や人格形成に対する再認識を図るとともに、家庭において担うべき役割の学習を通じ、家庭の教育力の向上を図るため、多くの親が集まる機会を活用し、家庭教育について学習する場を提供します。実施状況ですが、親学講座としまして、今後、小・中学校入学説明会、幼稚園(年長児)の参観日に実施予定しています。講師は空知教育局の指導主事や子育てサポーター、スクールカウンセラー等を予定しております。

学校教育 G 主幹

(2) 地域とともにある学校教育の推進 ①農業を通じた学習機会の充実でございます。学校における食育推進事業、拡充事業になります。新規事業として町民を対象とした給食試食会実施したことによる拡充となっております。児童生徒及び保護者を対象に、南幌町産の食材を積極的に使用した学校給食を通じて、食に関する知識を身に付けるとともに、地域の食文化や旬の食材への理解を深め、自然からの恵みや生産者への感謝の気持ちを育むほか、食に関する知識の向上を図るため、栄養教諭による指導や給食だよりを発行するなどの取り組みや、地元産の食材への理解の浸透を図ることや子育て支援の一環として、南幌町産のお米のほか小麦を使用した麺、パンにかかる費用を町が負担している取組となります。

実施状況につきましては、10月下旬に南幌産の食材を重点的に使用した「南幌産給食週間」を実施し、あわせて給食だよりを配布しております。また、同期間に町民を対象とした給食試食会を開催し、10月24日から28日の5日間で33名が参加しております。参加者の学校給食への理解を深めることができたと考えております。

しかし、定員を1日20名の100名としておりましたが、参加者が33

名であったことから、次年度に向け実施方法含め検討していきたいと考えております。

次に2ページになります。②学校教育の充実ですが、まず、高等学校通学費補助事業、継続事業になります。高等学校等への進学に係る通学費等の一部を助成し、子どもの教育に係る保護者の負担軽減のため、通学先の学校により一律の金額で年間10ヶ月分を助成する取組となります。

実施状況につきましては、12月1日現在で82名に対し、497万1千400円を助成しております。

次に、ICT活用事業、新規事業になります。小・中学生のICTを活用した学習活動の充実を図るため、小・中学校に学習用アプリを導入する取組となります。実施状況につきましては、学習支援アプリ「スマイルネクスト」を小・中学校に導入しております。この、スマイルネクストはドリル学習やプログラミングなど様々な活用方法があり、1人1台端末を利用した学習活動の充実を図ることができるアプリとなっております。

次に、③国際社会で活躍する人材の育成ですが、まず、中学生国際留学プログラム事業、継続事業になります。中学生が生きた英語と異文化を体験することで、豊かな国際感覚を身につけ、国際社会で活躍できる人材育成のファーストステップを支援するため、国外または国内の語学学校へ派遣を行う取組となります。実施目的となっておりますが、申し訳ございません。実施状況の誤りでございます。訂正をお願いいたします。

実施状況でございますが、今年度、新型コロナウイルスの影響により、オーストラリアを始めとして国外での実施が難しいと判断し、国内の語学学校、山梨県富士河口湖町にございますアチーブイングリッシュキャンプに、8月14日から17日までの3泊4日の日程で中学3年生6名を派遣しております。

次年度に向けては、新型コロナウイルスの状況にもよりますが、国外・国内どちらの実施とするか、現在、小学6年生から中学2年生までを対象にアンケート調査を行っているところでございます。もし、国内となった場合においては、今年度の3泊4日では帰りの時間が遅く翌日から学校があるなど、生徒の健康上の問題もあることから、実施時期や内容の検討を行っているところでございます。

次に、イングリッシュ・キャンプ事業、新規事業になります。小学5年生から中学3年生を対象に、外国語指導助手や大学生との交流を通じて、英語に親しみを持ち、英語力の向上を目指すとともに国際社会で活躍できる人材の育成を図るため、子ども会育成連絡協議会と連携し、外国語指導助手や大学包括連携による学生の協力により生活を共にしたキャンプを実施する取組となります。

実施状況につきましては、8月20日から21日の1泊2日で、三重レークハウスで実施しております。定員20名のところ24名の申込みがあり、ALT（外国語指導助手）のヨウン先生の方で、24名で対応可能とのことから24名で実施したところです。児童生徒の学年別は記載のとおりとなっております。また、ボランティアにつきましては、ヨウン先生が空知管内のALTに声掛けを行っていただいたことで、ヨウン先生を含めALT4名、CIR（国際交流員）1名の協力をいただいております。学生の3名につきましては、包括連携協定を締結している北海道文教大学の学生に協力をいただいております。

参加した子どもからは、「海外に行ってみたい」や「英検取りたい」など、英語に対する親しみや興味などが向上したと思われることから、次年度以降もボランティアの協力をいただきながら実施していきたいと考えております。

次に、小学生英会話クラブ事業、新規事業になります。小学5・6年生を対象に、国際社会で活躍できる人材の育成を図るため、英語に親しみを持つことで、英語力の向上を目指すため、外国語指導助手等を講師とし、小学校の放課後クラブとして実施する取組となります。

実施状況につきましては、小学校の放課後クラブの一つとして小学校内で募集を行った結果、希望者なしのため未実施となっております。他に募集が行われたクラブとして、10種類のクラブ（サッカー・卓球・バドミントン・野球・ソフトバレー・遊び・パソコン・イラスト・手芸・工作）があり、児童が他を希望した結果となっております。

次年度に向けては、放課後クラブでは他のクラブが人気で英会話クラブへの希望が難しいことから、別の形を含め検討していきたいと考えております。

次に、英語検定料助成事業、新規事業になります。小・中学生を対象に、国際社会で活躍できる人材の育成を図るため、英語検定の受験者数拡充を図り、英語検定取得を推奨することで英語力の向上を目指すため、各級の検定料の1/2以内（100円未満切り捨て）、準要保護等は全額を助成する取組となります。12月1日現在で11名に対し、2万1千200円を助成しております。受験された級と受験者の学年につきましては記載のとおりとなっております。

受験者が少ない状況となっておりますので、次年度に向けて、どうしたら受験者を増やせるのか検討が必要であると考えておりますが、イングリッシュ・キャンプに参加した子どもに英検を取りたいという気持ちになった子が多くいたことから、他の事業と連携しながら増やせればと考えており

ます。

社会教育 G 主幹 (3) 豊かな心を育てる生涯学習・社会教育の推進 ②青少年健全育成の充実、青少年健全育成事業、継続事業です。事業目的ですが、青少年の健全育成のため、「家庭・学校・地域の連携を深め、安全安心な子どもたちの居場所づくり」、「健全育成に対する意識啓発、地域の教育力向上」、「学校や関係団体と連携した多様な学習活動の提供」のための事業を実施いたします。実施状況ですが、あそびの達人教室、軽運動や集団遊びなどを火曜日の放課後に年間22回開催、特別教室（長期休暇、土日開催）9回の開催予定でしたが、コロナの影響により、8月下旬から11月中旬まで中止しておりました。現在直近の登録人数は69名、通常教室12回、特別教室3回実施しております。指導者は各回で4～5名の生涯学習サポーターが対応しております。

子ども文化・スポーツ全道大会等補助事業、新規事業です。事業目的は、文化活動やスポーツ少年団活動などで活躍する小・中学生を対象にスポーツ活動や文化活動などに取り組んでいる子どもたちに対し、全道・全国大会へ出場した際に発生する経費を助成し、活動を支援します。実施状況については、今後の見込みも含めて、スポーツ系、柔道、バドミントン、ミニバス、スーパーアスリートクラブ、5件の内、全国大会1件、文化系は、永岡ピアノ教室で3件の内、全国大会1件です。なお、決算見込額は750,000円です。今年度からの新規事業として、これまでは少年団に限定した補助金でしたが、文化系の教室や、少年団に登録していない団体、スーパーアスリートクラブ陸上も対象として、対象範囲を拡大しました。今年度の実績としても、ピアノ教室から3件、陸上クラブから1件の申請があり、より幅広く子ども達の活動をサポートできるようになりました。続きまして、チャレンジキャンプ、生活体験・防災教育事業、新規事業です。事業目的としては、小学校4年生から中学校3年生を対象に、異年齢や異世代との交流が少ないことや自然体験、生活体験等の直接体験が不足していることから、これらの課題解決のため、生活体験及び避難所体験を取り入れたキャンプでの協同体験を通して児童生徒の成長を図るため、子ども会育成連絡協議会と連携し、体験学習を実施します。

実施状況は、チャレンジキャンプは、ニセコ町での子ども会主催夏休み自然体験学習の日程に組み込み、実施しました。8月2日～5日 3泊4日の日程で参加者：27名で実施しました。キャンプ全般での火起こし、食事づくり、食器洗い、身の回りの荷物整理、活動準備も日常では体験できない生活体験なのですが、今年度からの取り組みとして、最終日のみコテージに宿泊したのですが、コテージを家に見立てて、生活に必要な水道の元栓の開閉、ガス元栓の開閉を子ども達が体験しました。また洗濯も、洗

濯機を回す、干す、片づけることを子ども達だけで行いました。

今後の方向性としては、異年齢の小中学生が参加しているという特性を生かして、高学年が下の子を見守りながら、指導して、その作業を行う。その子が高学年になったら、その下の子に指導するというように、役割分担をしながら、経験・技術を伝えていくということも、より明確にして、継続性をもって実施していきたいと考えております。

防災キャンプは避難所体験ということで9月に予定をしておりましたが、コロナ拡大を受け、やむを得ず中止としたところです。

プロフェッショナル講演会事業、新規事業です。事業目的としては、小・中学生を対象に、教育や文化、スポーツなどの優れた技術や才能を持った著名人を招へいし、講演などを通じて、子どもたちの豊かな心の育成や将来の夢の実現に向けて生きる力の育成を図るため講演会を実施します。実施状況としましては、今後の予定になりますが、小中学生、南幌高校生徒を対象に令和5年1月23日に、元日本ハムファイターズ選手の杉谷拳士氏をお招きし、「夢を実現させること、そして、その夢のつづきをはなそう！」をテーマに、小学校、中学校それぞれで行います。

講師の人選としては、抽象的ですが、一本道な夢の実現ではなく、紆余曲折しながらも、その中で夢をあきらめずに、前向きに取り組んでいる芸能人、著名人、スポーツ選手からピックアップしたところです。

(4) 健康な心身を育てるスポーツ・レクリエーション活動の推進 ①スポーツ・レクリエーション活動の充実、子ども体力向上事業、継続事業です。事業目的は、小学生を対象に、体を動かすことの楽しさやスポーツの魅力を知ってもらい、体力向上や運動能力の向上を目指すほか、各団体の活動を支援することにより、町民が生涯を通じてスポーツ・レクリエーションに接する機会を増やし、スポーツの振興を図ります。実施状況は、小学生スイミングスクール、小学1～2年、3～6年を対象に5月～9月までの火・金曜日に実施しました。24回の予定でしたが、コロナの影響で実施回数は11回となりました。登録者数は60名で延べ146名が参加しました。夏休み小学生水泳教室は、小学1～6年を対象に7月27～29日、8月2～4日の2回に分けて実施しました。登録者数は36名で、当初予定どおり実施回数は6回実施しました。

ジュニアアスリートクラブは、小学1～2年、3～4年を対象に5月～3月までの水・木曜日に実施しています。登録者数は40名です。こちらも新型コロナウイルスの影響により、これまで17回中止をしております。ランニング、ダッシュ、リズム運動、ボールを使った簡単なゲームなどを行っております。少年団に入る前の児童に基本的な運動動作を習得させることを目的としており、人気の高い事業となっております。

小学生スキー教室は、小学1年～2年を対象として、令和5年1月10日～12日の3日間、長沼スキー場で開催を予定しています。定員先着20名のところ、28名の申込を頂きまして、指導者と打合せし、28名全員に参加していただくこととしました。

学校教育G主幹 最後に、横版の資料になりますが、「南幌町教育大綱」の主要施策と「子どもたちの未来を応援する取組」の体系図です。こちらにつきましては、只今説明させていただきました事業が、南幌町教育大綱の主要施策内容とどのように連動しているのかという体系図となっておりますので、こちらにつきましては、後ほどご覧いただければと思います。説明につきましては以上です。

町 長 只今、説明が終わりました。子どもたちの未来を応援する取組みにつきましては、今年度から体系化をしまして、現行または拡充、新規の事業ということで、組み込みをしまして実施をしたところであります。コロナもあって、なかなかすべてができたわけではないわけですが、色々とたくさんの事業にまたがっております。質疑については、ページごとに区切って皆様方からご意見ご質問などを頂ければと思います。

まず、1ページからご意見ご質問がありましたらよろしくお願ひ致します。

委 員 意見等なし

町 長 また、最後にお話しを聞きたいと思います。次に2ページの4事業につきまして、皆様方から何かご意見等はございませんでしょうか。

武田委員 2点あります。高等学校通学費補助事業については、全員に補助を頂いて、大変ありがたい制度だと思っているんですけど、交通費の値上げですとか、そういった事情もありますので、また南幌高校が無くなるということもあります。町外に全員出ることになりますので、補助額のアップということは検討されているのでしょうか。

生涯学習課長 通学費補助については、実際に札幌、石狩管内に出ている方たちがいらっしやいます。その中で、この補助を受けていない方も中にはいらっしやいまして、その方たちは進学していないですとか、転出して対応されたという方もいらっしやると思っています。その方に対しましては、少人数ではあります。通学費の増額については、南幌高校が今年度いっぱい閉校となりますけれども、実際にほとんどの生徒さんは町外に進学しているということもありまして、実際に車で駅まで送迎して、駅から電車等で通学するという方もいらっしやいます。また、寮や下宿にいる方もいらっしやいますので、その中で実費負担となると難しいことがありますので、今のところ現在の上限額1万円というところは、考えておりません。

武田委員 一律に札幌市内といっても非常に行きやすい札幌市内と行きにくいと

ころもあると思うので、あの確認もどうなのかなあと若干疑問はあったのですが、細かい人数を出してくれというのも大変だと思いますので、交通費の値上がり応じて何年かにそういった検討をされるとありがたいということです。

生涯学習課長 今後、実際に公共交通の料金が今まで以上に値上がりするような状況でしたら、検討しなければならないのかなあとと思います。

町 長 今回の関連ですが、町内の公共交通はバスですが、夕鉄バス、JR、中央バスの3社乗り入れしております。近年の少子化やコロナ禍もあって、乗車数が極端に減少している。これに加えて各社の乗務員さんが不足しているということで、交通会社の状況変化がすごく大きいです。例えば、夕張や栗山から南幌と来ていますが、その間の乗車が少ないので、これから、間引きなどでてくるのではないかと懸念するところです。一番は、ドライバーがいないということが非常に厳しい現状である。かといって町が補填できるものではありませんから、乗務員の確保が課題となっており、公共交通の厳しさがあります。赤字路線に補助がつくのですが、その前に乗務員さんがいないということで、減便ですとか間引きですとかそういったことにならないようにしたいと思っております。

武田委員 あいる一とは町内だけですけれど、最寄り駅が北広島や野幌とかそのあたりまで延伸するのと、夕鉄バスやJRバスに補助を出すのと、どちらが、お金的にはどのような感じでしょうか。

町 長 アイルートに、業務量など事業拡大したほうが、コストは上がると思います。ただ、町内の運送業者もいらっしゃるので、そこでの調整が必要となります。そのようなこともあり、今、平日8時から17時まで、限って町内だけで運行ということで、条件を付けて事業化を進めております。

武田委員 もう一点、中学生国際留学プログラム事業についてですが、うちの中学3年生の息子が参加させていただきましたが、10月頃に行った子どもたちに報告会を行ってもらおう予定になっていたかと思いますが、コロナの関係ですとか、わかりませんが発表会の日程が特にここまで、今後やるのか、やらないのか、今の段階で何も連絡がありませんので、子どもからの意見なのですが、やらないならやらないで気持ちの整理がつくので、私としては、来年度以降の事業の申し込みにアプローチするためにも、経験者の何かしらの発表の機会があった方がよいと思いますが、子どもが気にしていますので、その後どうなるのかなあとということでお聞きします。

学校教育G主幹 報告会については、10月に開催予定でしたが実施を見合せてございます。学校の方にも以前は大人が多い中で発表しておりましたが、実際、次年度参加対象となる生徒を対象に内容を発表する方が、参加意欲が沸くのではないかとということで、生徒を対象に実施してはどうかとお願いして

おりましたが、なかなか授業の関係で日程が組めないということも現状であります。それぞれ、参加した子どもの報告の準備等も気になると思いますが、受験も近づいてきていますので改めて学校に確認し方向性を決めさせていただきます。

町 長 他にどうですか。

久保委員 ICT活用事業ですが、今後の要望とございますか、折角導入しましたので、今は勉強等でしか多分使っていないと思いますが、前に自分が調べたのですが、他の市町村は、部活動の写真を撮って、発表に使ったとか、修学旅行でタブレットを使って写真を取り発表会に使ったなど、色々やられていますので、そういったことに発展して使っていければ、子どもたちもどんどん使い方に慣れてきて、使うようになるのかなあと思っていますので、勉強以外の活動にも使っていければと思っています。

生涯学習課長 多分、学校の先生も手探りの状態で授業を進めていると思います。ただ先進事例もあると思いますので、事例を学校に紹介しながら学校と検討していきたいと考えております。

町 長 話は変わりますが、今年から妊産婦さんへの母子手帳アプリを導入しました。お子さんの発育の状況ですとか、相談などを乳幼児健診につなげていくというものです。アプリなど、皆さんに慣れてきていただいたので、拡充して行きたいなあと思っております。若い方が多いので、使い方が上手ですので。

武田委員 ICTの話に関連して、この間、新聞で部活動の楽器の演奏やダンス練習など、部活動の指導者を外注といったことで切り離すという流れになってきていますので、遠方の指導者とつながってやるという取組みもあるということです。今後、できれば対面で指導者がつくことが理想かと思いますが、冬季に指導者が来ることが難しいということであれば、そういったことも使っていくことができるのかなあと思いました。

町 長 3ページの事業について、何かご意見等はございますでしょうか。

古道委員 英会話クラブ事業についてですが、とても楽しそうだなあと考えてみていたのですが、希望者なしということでがっかりしたんですけど、小さい子どもは、日本語以外のツールを使って、他人と意見交換ができたというのが、感動したというのは、大きくても小さくてもあると思います。そういう機会が増えてくれば、クラブでやってみようかなあとなると思うので、子どもたちのために外国語に触れる機会をもっと増やしてほしいと思いますのでよろしく願いいたします。

生涯学習課長 こちらは、小学校英会話クラブは小学校5、6年を対象と書いておりますが、実際に英語活動は3年生から始まります。その前の1、2年生も英語活動の入り口として低学年から始めることも大切であると思います。今こ

で、3段目に青少年健全育成事業ということで、あそびの達人教室等あるんですが、こういった事業でもヨウン先生がいらっしゃるの、指導者として来ていただき、英語遊びですとか、歌を歌ったりすることで親しんでいくことが入り口の部分として活動できたらいいのかなあと今考えているところです。

町 長 今回、初めてでしたので放課後クラブの中でやってみると、やはり子供たちが選ぶ選択肢がサッカーや野球といったほうが、楽しいとなったのかなあと。やはり、誘導付けというのが大事なのかなあと。

伊 藤 委 員 私もその部分で、折角事業として立ち上げて、しかも初年度で結局はできなかったというのは、やはりその部分はしっかり検証していかないと、やることはとってもいいのですが、クラブとしてやる場合、子どもたちは、全学年対象ではないので、高学年になるとお兄ちゃんやお姉ちゃんを見て、こういうクラブをやりたいという思いがあるものです。ですから、新しいものを入れたり、方向として力を入れてやりたいというのは、大変立派なのですが、でも子どもたちの中では、実は、すでにクラブでやりたいものが決まっている子どもがたくさんいると思うので、それを曲げてやるのはいかなものかなあと思いますので、クラブとしてやるのか、他の活動の中で、それこそ、低学年を対象としていくとかそういう考え方もできると思うので、学校とよく相談されてこの事業は、ぜひ立ち上げるようなものにしていただきたいと思っております。

町 長 他に何かございますでしょうか。無ければ、4ページ目の事業について、何かご意見等はございますでしょうか。

武 田 委 員 内容についてはいいのですが、色々な事業やキャンプが8月に集中しているんですけど、これは、もちろん子どもが参加しやすいところとお考えになってのことと思うのですが、重複している事業があると希望したくても片方しか参加できないとか、2週連続だと厳しいだとか、そういうことが起きてくると思いますが、この日程の取り方について、他の方からこのようなご意見は無いものでしょうか。

生涯学習課長 夏休み期間中の主な宿泊事業ですが、基本的には、小中学生が色々な事業に参加できるように日程調整はしております。ただ、部活動や少年団活動や部活動でしたら全道大会がありますので、そういった生徒については選んで参加していただくことになってしまうのですが、それについても夏休みが始まる前に、夏休み期間中のすべての事業をカレンダーに記しまして、選べるような形で夏休み前に配布して、好きな事業に参加していただけるようなことで対応しております。

武 田 委 員 水泳教室とニセコ重複していたのが残念だなあと思いました。あとイングリッシュ・キャンプだとかは、夏休み後に設定されていますけれど、例え

ば、秋に実施とか考えられたのかなあと思ったのですが。

生涯学習課長 水泳教室については、前期後期に分かれているので、ニセコに参加したい子については、前半に参加していただくという選択肢もあります。

武田委員 主催される方も大変かと思えますし、集中していることの良さがあると思えますので、少し気になったことを伺いました。

久保委員 チャレンジキャンプで防災教育とあります。この間の厚真町の地震のこともありますので、やはり、地震やミサイルの件もありますので、特に電気、ガス、水道が通らなくなった場合どうなるのか。ということは多分、今の子どもたちは分からないと思うので、私が子供の時は、水害で一回中学校の体育館で非難した経験があるのですが、そのような経験もないでしょうから、そういった教育ができたらいいなかなあと思えますのでよろしくお願い致します。

町長 たびたび、久保委員から水道の落とし方や電球の玉の交換ですとか、日常的なことですね、少しずつ体験させて行けたらなあと思えます。生きていくための基本中の基本ですから、そういった取り組みを検討していけたらと思っております。他にいかがでしょうか。

武田委員 ここに記載がないのですが、今年の夏に「まなび場ぼろろ」という企画を中学生対象だったと思うのですが、本州の大学生が来て、色々勉強を教えたり、実験を一緒に行ったり2、3日にわたった事業があったと思うのですが、それが、この資料には無いのですが非常に子どもたちにとって良い内容だったので、来年も実施を希望したいなあと思えます。もう一点は、ふるさと納税の件ですが、町のホームページを見ただけなので、概要がわからなかったのですが、学生支援について学校を通じて、奨学金のような形のものなのでしょうか、これは、南幌町在住の子どもに向けた支援ではなく、学校を通じて学校に通う生徒への支援という理解でよろしいでしょうか。

社会教育G主幹 「まなび場ぼろろ」についてですが、「明日の寺子屋」という札幌の会社が、札幌連携中枢都市圏の事業で、企業のスタートアップ事業で採択された会社として、開催地として連携中枢都市圏として南幌町が手上げをし、今年度に限っては、事業費をかけずに実施したところです。道内外の大学生10名が、特に留学経験のある大学生ですとか、道内であれば、北海道大学や教育大学、本州では慶応義塾大学が多かったのですが、海外大学からの留学生など含めて、南幌のぼろろを会場にして大学生が集まりました。

小中学生を対象とし、ぼろろにきて何かをやるということではなく、小中学生がやりたいことを大学生が横に座って会話しながら進めていくという新しい形の学びでした。学校の先生や保護者とは違ったアプローチで攻めることで、ためになった、大変満足しているという回答が多かったところです。中学生の進路の話ですとか、やりたいことを、生徒の現在地と向かうべき方

向性のようなものを、学生の様々な経験談から、気づくことができる場なのかなあと感じました。

先ほど、武田委員からお話しのありました、日程についてですが、夏休みに実施したものですから、事業が重複して部活動があるなど、参加者を集めるのに苦労ところもあるのですが、来年度以降も継続してやれるのであれば、中学校と連携して新しい学びの場ということで、継続に向けて検討して参りたいと思います。

武田委員 本州の大学生と会話するということが、南幌ではなかなか経験できないことですから、刺激になったのと、学校の先生とは違ったアプローチで勉強を教えてもらったことが良かったようです。来年は、うちの息子が高校生になるのですが、もし開催するのであれば参加したいと言っていたので、ぜひ、そういう機会があれば地元に戻っている高校生が活気づくのではないのかなあと思います。

町長 宣伝させていただきますが、札幌連携中枢都市圏という南幌町が入っております、札幌市とか江別とか千歳、恵庭、小樽などが入っています。その中で空知管内では、岩見沢市、長沼町と本町が入っています。これは札幌市への通勤や通学者が多いなど、そういった割合が多いということで都市圏に入れてもらいまして、一番わかりやすいのは、札幌市の一部サービスを受けることができます。わかりやすく言うとこのような恩恵があります。それで、今、佐藤主幹が言った、社会教育の事業ですとか、例えば、教育関係ですと夜間中学できたのですが、南幌町は対象となっています。また、企業誘致ですとか、札幌市民が対象となっています、24時間の安心サポートセンターも連携中枢都市圏が加わっています。

また、昨年12月に恵庭市の北海道文教大学と包括連携協定を締結しました。今回の事業にも大学生が入っていただきました。少しずつ社会教育の事業が中心ですけれども、大学生が体験活動や英語のサポートなどそのような形で入っていただいております。今年実質1年目なんです、来年度に向けて色々強化していきたいと思っています。また、高齢者大学などの研修としても幅を広げていきたいなと思っています。

総務課長 2点目のふるさと納税の関係なんです、個人のふるさと納税とは違うので、直接我々の方では担当していませんが、もともと企業版ふるさと納税を活用して学生支援を行うという事業です、その学生支援というのが、例えば大学ですとか、学校法人ですとか、そこには南幌町出身の子が行っている、いない関係なく学生支援として行っている事業です。

町長 南幌町と連携しますよと手を挙げていただいた大学に、南幌町が企業からいただいた寄付金を出して、それを学生支援に充てるということです。

武田委員 この事業自体は素晴らしい事業だと思っています。コロナ禍で2年位

前に学生に10万円を補助していたと思いますが、あれは、無くなったのでしょうか。

町長 地方創生臨時交付金といいまして、コロナ禍ということで国から町に対して交付されたもので、町で住民支援に充ててくださいという交付金が来たのですが、本町ではその一部を学生支援に充てた。他にも妊婦さんへの支援ですとか、うちの町は学生支援に一部を充てたということです。

武田委員 臨時的な財源だったということですか。

町長 なかなかこれも細ってきまして、これからウイズコロナになってきますので、国からの交付金は無くなってきてます。

武田委員 ふるさと納税から以前は、少年団に一人1万円の補助があったので、学校を通じて、南幌町民でない学生に支援するということは、それはそれで、南幌町の宣伝としては素晴らしいと思いますが、実質的に町民に還元されないシステムがどうなのかなあと。

町長 企業さんは、町としてこういう事業を取組みますということで、学生支援ですという目的に賛同してくれた企業からの寄付金ですので、町として違う事業に使うことができません。

武田委員 目的が違うということですね。

町長 そのほか、全体を通して何かございますでしょうか。

久保委員 この度、私の子どもが全国大会に行かせていただき、補助金を出していただき、本当にありがたく思いましたし、子どもたちも大変喜んでおりました。これからも、全国大会レベルの大会に出場するという場合、継続的にやっていただければなあと思いますので、町長、宜しくお願い致します。

町長 こういう、嬉しいことが、毎年のように起こることを願っておりますので、町として精一杯応援させていただきます。他全体を通してありませんでしょうか。無いようでしたら、(2)その他ですが何かございますでしょうか。

事務局 ありません。

町長 それでは、4番のその他について、全体を通して何かありますかでしょうか。

古道委員 小中学生に地方自治というものはどういうものかということを教える機会があればいいなあと思いました。先ほど、町長がおっしゃっていました、通学バスの問題、色々な問題が出てくると思います。人口増加している南幌町ですけれども、近隣の市町村は、人口は減少しているし、高齢化が進んでいるということで、様々な問題が出てくると思います。私の息子が新しい社会科の教科書を見せてもらった時に、今の社会科の教え方は、

私たちの一昔前の暗記する授業とは違って、いろんな資料がついていて、QRコードがついていて、そこからいろいろな資料が、動画でも何でも見ることができます。そういう資料を集めて、自分たちで考えて、この戦争に至った背景というのは、それぞれの国の立場はこうなんだと考えると、それを自分の言葉で表現して他者に伝えるという学習をしています。これは、南幌町ですとか、国が抱える問題を解決する手法として、役に立つと思いました。小学生のうちから役場で何をしているところなの。自分たちの暮らしている町の決まりは、どういう風に作られているのということ子どもたちに見せていくことができれば、様々な問題がある。その問題を解決していくために、議会を開いたりしているということを教えてあげるですとか。例えば、小中学生向けに、読みやすい言葉で書かれた町政だよりを作って渡すだとか、授業の中で、できるできないは別として、中学3年生は議会の傍聴に行くのもいいと思うのですが、それで、将来、子どもたちが大きくなった時に、実際こういう風にやっていたんだあと一人一人に読んでもらいたい。子どものためにも町のためにもなると思います。難しいことはたくさんあると思いますが、これからの子どもたちに必要なこととして、自治とは何ですか、町政とはどのように行われているのですか。というところを子どもたちが知る機会を積極的に設けていただきたいと思います。これが私の要望です。

町長 はい。地方自治というところまで行きつくかわかりませんが、町のことをよく知ってもらおう。役場の役割や仕組みを子どもたちに知ってもらうことは大事だと思いますので、どういう形になるかわかりませんが、総合学習の中で設けるのか、教育委員会の事業の中に盛り込むのか、私が何かの機会に行って、子どもたちと接するとか、どんな機会になるかわかりませんが、そういったことを検討していきたいと思っておりますので、また、どういう内容がいいとかありましたら、参考とさせていただきます。

古道委員 私個人的には、結構、山積している問題が多いと思うので、政治的に無関心ということも言われてられないと思うので、実際、将来的に困るのは子どもたちなので、他の町の問題の処理の仕方を私も教えてあげたいと思っているので。ただ、教え方で、表面的なことであれば、私たちの世代も習ってはいるんですけど、実際はどうだというと、疑似体験でもいいんですけど、例えば投票であったり、体験をしてほしいなあとと思います。

町長 体験活動は、取り入れておりますが地方自治となりますと、どういう方法がいいのかなあと。私としては、役場や議会の仕組みがどうなっているのか、例えばゴミの問題が今、どうなっているのかですとか。高齢化してしまっていますか。など、子どもたちと共有できる機会があればいいなあと

思っています。他いかがですか。

総務課長 私から4番のその他について、次回の日程につきましてご報告させていただきます。次回の日程につきましては、いじめなどに関する案件があった場合については、開催させていただきたいと考えております。また、その際には改めてご連絡させていただきますので、よろしくお願い申し上げます。以上です。

町長 なければ、以上をもちまして終了とさせていただきたいと思いますが、宜しいでしょうか。

委員全員 はい。

町長 では、本会議を閉じさせていただきます。

総務課長 以上を持ちまして総合教育会議を終了させていただきます。

午後5時00分 閉会